

平成24年7月8日
今週のベストショット



雁レクD 雁ノ巣ライナーズ 対 ブルーマーリンズ戦

6人で7HRを放ち圧勝したライナーズ。左から濱崎、中口、宇野、池内、鳥越、樽野選手。

(写真：奈多サンデーズ 前田篤史)

青松園A

ソルトベ이스ターズ (2勝5敗1分) 001000 1 鶴野●、中村(耕) - 酒井

新町パイレーツ (5勝2敗0分) 50010× 6 吉田○ - 桐島

2BH：桐島、山野井(新町パ)

一回表新町パイレーツ先発吉田投手は、ソルトベ이스ターズ1番中村(健)選手、2番中村(祐)選手を相手に連続三振の最高の立ち上がりで三者凡退に。一方ソルト先発鶴野投手は、パイレーツ1番牟田選手を抑えるものの、2番升井選手、3番白岩選手に連打され、4番桐島選手に先制タイムリーを許すと、5番山野井選手、6番大濱選手にも連打を許し、ここでノックアウト！緊急リリーフの中村(耕)投手が後続を断ち切るもこの回5失点。二回以降両チーム共に緊張感のある投手戦へ。三回表ソルトに中村(耕)選手のタイムリーが飛び出し、なおも二死二三塁とチャンスを広げ打席は4番田中(広)選手！初球の甘いストレートを狙うもショートゴロと凡退。ここで一発が出れば面白かったが終わってみれば、初回の失点が響き、6-1とパイレーツの勝利！リリーフの中村(耕)投手が好投しただけに初回の大量失点もったいなかった。

(記事、写真：三苦ホーネッツ 稲葉紘一)



一回表、先制タイムリーのパイレーツ桐島選手。



パイレーツ八坂選手決死の盗塁！



腰の入った鋭いスイングをするパイレーツ酒井選手。



ソルト森選手の打球を一塁へダイビングタッチする大濱選手。



一回から好リリーフを見せたソルト中村(耕)投手。

雁レクE球場

三苦三球会	(5勝1敗2分)	000000	0	吉留●—藤澤
奈多フェニックス	(7勝0敗0分)	000024	6	池見○—実延

3BH : 池見 (奈多フ)

序盤・中盤と両投手の好投が続き一進一退の攻防が見られた。遂に試合が動いたのは五回裏、フェニックス6番今林(英)選手のヒットから7番池見選手の三塁打で先制すると、8番太田選手も続き2点を奪った。更に六回裏、今林(誠)選手の犠飛で1点を追加すると1・2・3番の連打も見られ一挙4点を取り試合を決定づけた。三球会は、ランナーを出すもののチャンスで一本が出せなかった。0-6という結果であったが点差を感じさせない内容の好ゲームであった。(記事: 奈多クラブ 高瀬大輔)



大一番を完封で勝利したフェニックス池見投手。



好投も終盤の失点が響いた三球会吉留投手。

雁レクD

雁ノ巣ライナース（4勝1敗2分） 8 7 4 2 4 2 5 樽野○、鳥越一鳥越、樽野

ブルーマーリンズ（0勝7敗0分） 0 1 0 0 0 1 網脇●一尾田

HR：鳥越、池内、中口、樽野、宇野（×2）浜崎（雁ノ巣） **3BH**：中口（雁ノ巣） **2BH**：浜崎（雁ノ巣）

初回、ライナースは、1番鳥越選手が四球で出るとすかさず盗塁。続く2番池内選手も四球で出塁し、3番中口選手3ベースヒットなどであっさり2点先制すると、打者が一巡し再び回ってきた1番鳥越選手が2ランを放ち、この回一気に8点！ 続く二回表も2番池内選手の2ランが飛び出して7点を取り、二回で15点を奪取。しかし、このままで終われないブルーマーリンズも二回裏、4番尾田選手がセンター前を放つと、続く5番小柳選手もライト前で続く。そして6番横山選手の内野安打で無死満塁とすると、ワイルドピッチの間に三塁ランナーがホームインし1点を返す。続く打者が四球を選び再び無死満塁とし、このまま波に乗りたいマーリンズだったが、後続が倒れこの回結局1点を返すのがやっと。ライナースは、三回表に9番浜崎選手と3番中口選手が、四回には6番宇野選手が、五回には4番樽野選手、また6番宇野選手が本日2本目となる2ランを放つなど、終わってみれば、ライナースは1、2、3、4、6、9番の6名で計7本塁打と打線が大爆発！！

（記事、写真：奈多サンデーズ 前田篤史）



初回到に飛び出したライナース1番鳥越選手の2ラン！



パスボールの間に、必死のダッシュを見せたBマーリンズ尾田選手。



被安打3本に抑えたライナース樽野投手、本塁打も飛び出した。



ライナース打線につかまってしまったBマーリンズ網脇投手。



この日、2本ホームランを放ったライナース宇野選手。



6名で計7本塁打を放った選手達！指の数が本塁打の数。

奈多グラウンド

三苦フレンズ（0勝6敗1分）00002 2 生野●、二宮一佐藤

三友クラブ（2勝5敗0分）0573X 15 足達○ー広瀬、森野

2BH：杉山（三友ク）

二回裏三友クラブは、四死球を絡めランナーをため、6番広瀬監督のタイムリーヒットで先制すると、さらに相手エラーなどで5点を先取。続く三回裏には打者一巡の猛攻で7点を奪うと、四回も3点を奪い試合を優位に進める。フレンズは五回表に4番佐藤選手のタイムリーなどで2点を返すが、序盤の失点が重く15-2の五回コールドとなった。三友クラブはわずか5安打で15得点と効率のいい攻撃で大勝。一方、フレンズは四死球やエラーから失点するケースが多く、安打数もほぼ互角だっただけに、悔しい結果となってしまった。

（記事、写真：レッドサンデーズ 鳥羽晃弘）



二回以降つかまってしまったフレンズ先発の生野投手。



フレンズ2番手の二宮投手。



フレンズ打線を2点に抑えた三友クラブ足達投手。



先制タイムリー含む2安打三友クラブ広瀬監督。

第12週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

この記録的な大雨で被災された方々のご冥福と早い復興をお祈りしています。

さて、7月8日は4試合が行われました。

青松園Aのソルトベスターズ対新町パイレーツ戦は、初回が明暗を分けました。一回表ソルト中村3兄弟をきっちり抑えたパイレーツ吉田投手に応えるかのように、その裏一死から5連打を浴びせ、ソルト鶴野投手をKOしたパイレーツが1-6で勝ちました。その爆発力には定評がありますね。そのパイレーツは次戦7月22日に、春の大会で打ち勝った奈多サンデーズとの対戦です。乱打戦の予感が。

雁レクEの三苦三球会对奈多フェニックス戦は、昨年引き続きビデオ片手に私も偵察に行きました。昨年3安打完封で勝利した三球会とリベンジに燃えるフェニックス。共に最終戦まで1敗同士で凌ぎを削った両チームの対戦は、今年も投手戦に。昨年チーム全安打の3安打を叩き出したフェニックス池見投手が、値千金のタイムリー三塁打を放つと、意気消沈した三球会から終盤大量6点を奪い、0-6とリベンジ。三球会は強豪チーム相手に澤田選手の抜けた穴が大きかったか？フェニックス打線・・・しっかり見せてもらいましたよ～。

雁レクDの雁ノ巣ライナーズ対ブルーマーリンズは、22安打7HRを放ったライナーズが25-1で爆勝。そのライナーズが今週の表紙を飾りました。勢いに乗るライナーズは7月15日昨年覇者奈多サンデーズとの対戦。今年は勢いのある新人が入り、充実していますね。

奈多グラウンドの三苦フレンズ対三友クラブ戦は、初回三友打線を三者凡退に打ち取ったフレンズ生野投手が二回から突然乱れ、終わってみれば11四死球を与えてしまう炎上ぶり。それにエラーも絡み、スコアブック上は賑やかなのですが、安打は両チームとも5本。終わってみれば15-2で三友クラブの勝利。フレンズは好ゲームをするかと思えば、大敗するゲームも多いですね。三友は広瀬監督が2安打を放つなど、調子を上げて行って、上位陣を喰ってほしいものです。

次回7月15日は、博多祇園山笠のフィナーレ「追い山」です。

博多の熱い熱気に負けないよう、WSLもその熱気で梅雨を吹っ飛ばしましょう！

	一塁側		三塁側		審判
青松園A	奈多サンデーズ	対	雁ノ巣ライナーズ		三友クラブ
青松園B	レッドサンデーズ	対	三苦ホーネッツ		新町パイレーツ
奈多グラ	新町ウインズ	対	奈多クラブ		奈多フェニックス
雁レク5	塩浜ジャガーズ	対	三苦三球会		ブルーマーリンズ